

## 体育大会で得たもの

私が、体育大会で得たものは、係の仕事をする上での運営の大切さです。私は、この体育大会の1ヶ月以上前から、大会に向けて生徒会での仕事や部活動での仕事、クラスでの自分の役割を担ってきました。

生徒会での私の役割は、体育大会の式典の司会運営です。さらに障害物リレーで何をやり、ルールを決め、そのための器具をつくっていく、というものでした。今年は、どんなおもしろい障害物リレーにしようかととても悩みました。年を重ねるたびに、より楽しい体育大会が行われることにプレッシャーを感じながら、作り上げていきました。本番は、アクシデントなどもありましたが、成功することができたと思っています。けれど、終わってしまえば、「やっぱりこうの方がよかった」などというように、ちょっとした悔いが残ってしまいました。そんな私に先生が言ってくれました。「初めてやってみて、分かることがあるのだから、仕方がない。そうい悔いを次の子達に伝えていけばいいです」と。そう言われて、私は次の行事に向けて、気持ちを切り替えてまたがんばろうと思うことができました。私は、今回の体育大会での自分の役割を全うできたことにすごい達成感を感じることができました。

僕は、高校生活最後の、そして人生最後の体育大会を応援代表としてつとめました。高校3年生の体育大会は、今までとは全然違いました。僕は、準備期間の一日一日が体育大会のように感じていました。一ヶ月前からダンスを考えはじめ、みんながすぐにマスターできる教え方を、本当に毎晩考えていました。陣形、サビ、Aメロ、Bメロ、全てを考えて想像するのが、楽しくて仕方がなかったです。それが、自分だけではなく、友達や先生方などたくさんの人に協力してもらうことができました。業後に残ってくれる3年生、指示を待っている1・2年生、全力でサポートしてくれる先生方、みんなががんばれた1ヶ月でした。

体育祭を通して得たものは、大きく何よりも達成感を味わうことができました。そして、後悔もしました。それでも、今年の体育大会に全力をかけてチームに貢献したことは自信をもって言えます。今回得たもの、友人、そしてこの思い出を大切にしていきたいと思います。

